

環境経営レポート

令和 6年度

(令和 6年 4月～令和 7年 3月)

令和 7年 4月 4日

株式会社 山本組

目 次

□事業所の概要（P1）

□環境経営方針（P3）

□環境経営目標（P4）

□環境経営計画（P5）

□環境経営目標とその実績（P6）

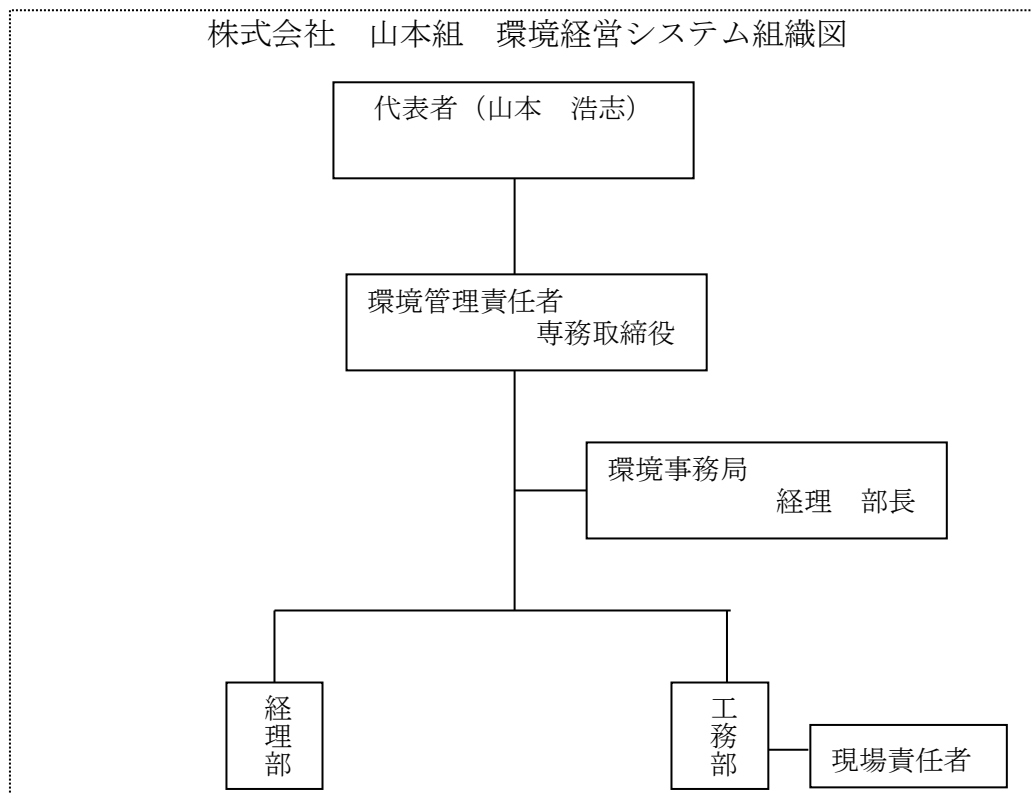
□環境経営計画の取組結果とその評価等、次年度の計画（P7、P8）

□環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無（P9）

□代表者による全体評価と見直し・指示結果（P10）

事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社 山本組
代表取締役 山本 浩志
- (2) 所在地
本 社：徳島県吉野川市美郷字宮倉 1 4 番地 5
本 店：徳島県吉野川市山川町古城 4 6 番地 3
資材置場：徳島県吉野川市美郷字宗田 4 4 0 番地 1 4
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役 TEL：0 8 8 3－4 3－2 6 3 0
環境事務局担当者 経理部長 FAX：0 8 8 3－4 2－6 5 6 3
- (4) 事業内容
総合建設業
徳島県知事許可（特－0 4）第 6 7 4 号
土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業
しゅんせつ工事業 塗装工事業 水道施設工事業
- (5) 認証・登録範囲
・本 社
・本 店
・資材置場
・活動：建設業（土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業）
※上記（4）事業内容に示す許可のうち、実績があるもの
- (6) 事業の規模
売 上 高：2 4 3 百万円／年（令和 6 年度 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）
従 業 員： 9 名
本 社 床 面 積： 3 5 m²
本 店 床 面 積： 1 6 0 m²
資材置場面積： 3 8 5 m²
- (7) 事業期間
4 月 1 日から翌年 3 月 31 日



	役割・責任・権限
社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者等を用意 - 環境経営管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標の設定を承認 - 環境経営レポートの承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	- 環境経営システムを構築し、実施し、管理 「環境関連法規等チェックリスト」の承認、遵守評価の結果の確認 - 環境経営実施計画書を承認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 - 教育訓練（緊急事態を含む）の実施を指示 - 是正・予防処置の決定・指示
環境事務局	- 環境経営管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成、これに基づく遵守評価の実施 - 環境経営目標・環境経営実施計画書原案の作成 - 環境経営実施計画の実績集計 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開
部門長 現場責任者	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	- 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

環境経営方針

基本理念

株式会社 山本組は、地球規模の環境保全のため、建設業の事業を通じ地域環境保全に努め、全従業員がE A 2 1の活動に取り組むことにより、発注者及び地域住民の信頼を確保する。

方 針

当社は事業活動とその完成品が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、環境経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動、完成品に関わる環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境への取組と継続的な環境負荷の削減を図ります。

2. 当社の事業活動、完成品に関わる環境関連の法令、徳島県条例、その他を遵守します。

3. 当社の事業活動、完成品に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②一般廃棄物の削減とリサイクル率の推進
- ③産業廃棄物の削減及びリサイクル率の推進
- ④上水使用量の削減
- ⑤環境配慮(再生資源・県産材)の取り組み
- ⑥アドプト事業(事務所周辺の清掃等社会貢献)
- ⑦工程・安全・品質管理の強化

4. この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

制定日 平成22年11月26日

改定日 令和 4年 4月28日

株式会社 山本組

代表者 山本 浩志

環境経営目標

□ 中期環境経営目標

<事務所>

項 目	令和 4年度 年4月～3月 実績（基準値）	令和 5年度 目 標	令和 6年度 目 標	令和 7年度 目 標
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年) 電力排出係数 0.574 kg-CO ₂ /kWh	4,327	4,327	4,327	4,327
電力使用量(kWh/年)	6,695	6,695	6,695	6,695
燃料使用量：灯油(L/年)	190	190	190	190
燃料使用量：LPG(kg/年)	3.8	3.8	3.8	3.8
廃棄物リサイクル率(%)	80	80	80	80
上水使用量(m ³ /年)	80	80	80	80

※ECO 2 1 経過観察して1 2年が経過したため、令和 4年度の実績を基準値とする。

※電力排出係数は、環境省 2022 年 2 月 17 日公表 四国電力調整後排出係数を使用

<現 場>

項 目	令和 4年度 年4月～3月 実績（基準値）	令和 5年度 目 標	令和 6年度 目 標	令和 7年度 目 標
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年) 電力排出係数 0.574 kg-CO ₂ /kWh	44,978	44,978	44,078	43,629
燃料使用量：ガソリン(L/年)	3,075	3,075	3,075	3,075
燃料使用量：軽油(L/年)	14,668	14,668	14,668	14,668
廃棄物リサイクル率(%)	100	100	100	100
環境配慮型の取組み(t/年)	500	500	500	500
アドプト事業(回/年)	4	4	4	4
工期短縮(%)	100	100	100	100

※ECO 2 1 経過観察して1 2年が経過したため、令和 4年度の実績を基準値とする。

※化学物質（PRTR 制度対象物質）の仕様がないたため、化学物質使用量削減目標は設定していない

※環境配慮型

使用する主な建設資材（再生砕石、再生アスファルト、県産材木材）の合計値

※工期短縮は、全請負工事件数に対して工期短縮できた工事件数の割合

環境経営計画 令和6年度

作成者：山本 翔

環境経営目標	環境活動の内容	担当者
二酸化炭素の削減		社長
① 電力使用量の削減	エアコンの温度設定 夏27℃～28℃（6～9月） 冬20℃（12～3月） 照明器具・エアコン・窓掃除を年2回（5・10月）実施する 休憩時間は事務所の消灯を実施する。 できるだけこまめに電源を切る 不要電力消費抑制	経理部
② 燃料使用量の削減	作業に必要ないときはエンジンを切る エコ安全ドライブ実践する ふんわりアクセル、はやめのアクセルオフ 加減速の少ない運転、ゆとりある車間距離 アイドリングストップ、こまめの点検整備 作業車輛の自主点検を励行する エンジン付設備の定期的に整備する	経理部 工務部
③ 一般廃棄物の削減とリサイクル率の向上	コピー用紙の裏面使用、ミスプリント減少のためPDF変換、紙くず排出量の低減に努める 使い捨て製品の使用や購入の抑制	経理部
④ 廃棄物のリサイクル率の向上	100%リサイクル（自社利用・リサイクル業者委託） 分別の徹底 できるだけ同一種類のものをまとめて処理する ダストを出さないように作業を工夫する できるだけ再資源化できるものを受け入れる	工務部
⑤ 上水使用量の削減	こまめに蛇口をしめる 作業車輛の洗車の回数を減らす 節水に心掛ける 洗物は、まとめ洗いをし、出しっ放しにしない	経理部 工務部
⑥ 環境配慮型の取組み	県産材の使用 再生資源の使用 ロス率超えの最小削減（資材管理の徹底）	工務部
⑦ アドプト事業の取り組み	会社周辺の清掃美化活動を推進する アドプト事業を年4回（四半期に1回）行う	経理部 工務部
⑧ 工期短縮の推進	工程順序を遵守	工務部

※日程・上記の活動内容のうち、実施時期が示されていない物は通年実施

令和 6年度 環境経営目標とその実績 (令和 6年4月～令和 7年3月まで)

<事務所>

項 目	目 標	実 績	評 価 (達成率)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年) 電力排出係数 0.574 kg-CO ₂ /kWh	4,327	4,880	89%
電力使用量 (kWh/年)	6,695	7,658	87%
燃料使用量：灯油 (L/年)	190	190	100%
燃料使用量：LPG (kg/年)	3.8	3.8	100%
廃棄物リサイクル率 (%)	80	90	113% ※総排出量 1,474kg
上水使用量 (m ³ /年)	80	80	100%

※電力排出係数は、環境省 2022 年 2 月 17 日公表 四国電力調整後排出係数を使用

<現 場>

項 目	目 標	実 績	評 価 (達成率)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年)	44,978	44,578	101%
燃料使用量：ガソリン (L/年)	3,075	3,001	103%
燃料使用量：軽油 (L/年)	14,668	14,580	101%
廃棄物リサイクル率 (%)	100	100	100% ※総排出量 241 t
環境配慮型の取組み(t/年)	500	658	135%
アドプト事業(回/年)	4	4	100%
工期短縮 (%)	100	100	※請負件数/請負件数 14/14

※環境配慮型

使用する主な建設資材（再生砕石、再生アスファルト、県産材木材）の合計値

※工期短縮は、全請負工事件数に対して工期短縮できた工事件数の割合

□評価(原因と対策 今後どうするのか)

当社受注量が変わらない中、各種環境活動を十分実施出来た結果、事務所の二酸化炭素排出量・電力使用量を除く目標項目について目標達成が来ている。事務所の二酸化炭素排出量の目標未達成については、工事受注量、納品時期などが大幅に重なったことや、暑さ・寒さが厳しかったことにより、電力使用量が多くなったのが原因と考えられる。次年度については、納品時期等をずらすなどの工夫や、クールビズ・ウォームビズに努める。

近年の価格高騰の中、様々な小さな積み重ねが材料などの無駄使いや購入と繋がり、ロス率超えとなる時もある為、現場においては、資材の在庫確認、重機・機械の燃料等の無駄な使用などを無くす又、事務所においては、光熱費の削減として省エネ機器に取り換えることや設定を心掛け、書類関係などの使用においても、ミспリントを減らす為、PDF への変換や用紙の両面印刷を行うなどに前年度に引き続き取り組み、今以上にコスト削減の中での環境配慮への取組み、近年言われている SDG s の周知を行う。

令和 6年度環境経営計画の取組結果とその評価等

		達成・実施チェック 6月 9月 12月 3月									
重点テーマ	具体的項目	担当者	期間		達成・実施状況				達成・実施状況	達成目標 評価 ・ 指示	
			4	～ 3	1Q	2Q	3Q	4Q	年間		
環境経営目標	二酸化炭素排出量(LPG・電気・燃料)の削減	経理部	年間		◎	◎	◎	△	△	49,305kg-CO2が [△] 49,458kg-CO2	
	年間		◎	◎	◎	◎	◎	80%が [△] 90%			
	年間		◎	◎	◎	◎	◎	100%が [△] 100%			
	年間		◎	◎	◎	◎	◎	80tが [△] 80t			
	環境配慮型の取組み	工務部	年間	◎	◎	◎	◎	◎	500tが [△] 563t		
	年間		◎	◎	◎	◎	◎	4回が [△] 4回			
	年間		◎	◎	◎	◎	◎	100%が [△] 100% 請負件数/請負件数			
工期短縮の推進		年間	◎	◎	◎	◎	◎				
環境経営計画											
①電力使用量の削減	エアコンの温度設定 夏27℃～28℃(6～9月) 冬20℃(12～3月)	経理部	適宜		◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施	
	照明器具・エアコン・窓掃除を年2回 (5・10月)実施する		適宜	◎		◎		◎	十分できているので継続実施		
	休憩時間は事務所の消灯を実施する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	不要電力消費抑制		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
②燃料使用量の削減	作業に必要なときはエンジンを切る	経理部 工務部	年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	エコ安全ドライブ実践する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	作業車輛の自主点検を励行する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	エンジン付設備の定期的に整備する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
③一般廃棄物の削減	コピー用紙の裏面使用、ミスプリント減少のためPDF変換、紙くず排出量の低減に努める	経理部	年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	使い捨て製品の使用や購入の抑制		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
④廃棄物リサイクル率の向上	100%リサイクル (自社利用・リサイクル業者委託)	工務部	年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	分別の徹底		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	できるだけ同一種類のものをまとめて処理する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	ダストを出さないように作業を工夫する		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	できるだけ再資源化できるものを受け入れる		年間	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
⑤上水使用量の削減	こまめに蛇口をしめる	経理部 公務部	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	作業車輛の洗車の回数を減らす		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	節水に心掛ける		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	洗物は、まとめ洗いをし、出しっ放しにしない		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
⑥環境配慮型の取組み	県産材の使用	経理部 工務部	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	再生資源の使用		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	ロス率超えの最小削減 (資材管理の徹底)		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
⑦アドプト事業	会社周辺の清掃美化活動を推進する	経理部 工務部	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
	アドプト事業を年4回(四半期に1回)行う		適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		
⑧工期短縮の推進	工程順序を遵守	工務部	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	十分できているので継続実施		

達成状況: ◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分である ×できていない

達成状況: ◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分である ×できていない

環境経営計画 令和7年度

作成者：山本 翔

環境経営目標	環境活動の内容	担当者
二酸化炭素の削減		社長
⑨ 電力使用量の削減	エアコンの温度設定 夏27℃～28℃（6～9月） 冬20℃（12～3月） 照明器具・エアコン・窓掃除を年2回（5・10月）実施する 休憩時間は事務所の消灯を実施する。 できるだけこまめに電源を切る 不要電力消費抑制	経理部
⑩ 燃料使用量の削減	作業に必要ないときはエンジンを切る エコ安全ドライブ実践する ふんわりアクセル、はやめのアクセルオフ 加減速の少ない運転、ゆとりある車間距離 アイドリングストップ、こまめの点検整備 作業車輛の自主点検を励行する エンジン付設備の定期的に整備する	経理部 工務部
⑪ 一般廃棄物の削減とリサイクル率の向上	コピー用紙の裏面使用、ミスプリント減少のためPDF変換、紙くず排出量の低減に努める 使い捨て製品の使用や購入の抑制	経理部
⑫ 廃棄物のリサイクル率の向上	100%リサイクル（自社利用・リサイクル業者委託） 分別の徹底 できるだけ同一種類のものをまとめて処理する ダストを出さないように作業を工夫する できるだけ再資源化できるものを受け入れる	工務部
⑬ 上水使用量の削減	こまめに蛇口をしめる 作業車輛の洗車の回数を減らす 節水に心掛ける 洗物は、まとめ洗いをし、出しっ放しにしない	経理部 工務部
⑭ 環境配慮型の取組み	県産材の使用 再生資源の使用 ロス率超えの最小削減（資材管理の徹底）	工務部
⑮ アドプト事業の取り組み	会社周辺の清掃美化活動を推進する アドプト事業を年4回（四半期に1回）行う	経理部 工務部
⑯ 工期短縮の推進	工程順序を遵守	工務部

※日程・上記の活動内容のうち、実施時期が示されていない物は通年実施

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、違反、訴訟の有無

主な 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果は下記の通りである

環境関連法規制等の名称	規制内容(手続き・遵守事項)	遵守チェック
廃棄物処理法	・元請業者が排出事業者 ・委託基準(委託先の許可確認、委託契約締結、契約書5年保存) ・マニフェスト交付(回収・照合)、5年保存 ・交付状況報告(前年度実績、毎年6月30日までに) ・保管基準	遵守
資源リサイクル法	・発生抑制(施工方法、資材選択) ・再利用、再生利用、再資源化努力	遵守
建設リサイクル法	・発注者への書面による計画等説明 ・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出・発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等、再資源化等の促進、再生資源の使用	遵守
オフロード法	・適合建設機械の使用	遵守
フロン排出抑制法	・簡易点検:3か月に1回以上 ・点検・整備の記録(廃棄後3年保存)	遵守
騒音規制法	・知事(市町村長)へ7日前までに特定建設作業届出(指定地域) ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	・知事(市町村長)へ7日前までに特定建設作業届出(指定地域) ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守
浄化槽法	・設置届、廃止届 ・保守点検(1回/4か月以上)、清掃(1回/年以上) ・法定検査 1回/年	遵守
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・環境マネジメントシステムの導入等 ・建設等における温室効果ガスの排出の抑制	遵守

環境関連法規への違反は、ありません。なお、関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。
近隣住民から特に指摘等はなく、訴訟等もありません。

代表者による全体評価と見直し・指示結果(令和 6 年度)

令和 7 年 4 月 4 日

活動期間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

代表者 山本 浩志

全 体 の 評 価 (環境管理責任者)	
1. 目標達成状況（実績と評価）	令和 6 年度環境経営目標とその実績の「評価」 令和 6 年度は、「コストパフォーマンス向上」という経営目標を掲げ、取り組んだ。 EA21活動としては、当社受注量が変わらない中、各種環境活動を十分実施出来た結果、事務所の二酸化炭素排出量・電力使用量を除く目標項目について目標達成が出来ている。事務所の二酸化炭素排出量の目標未達成については、工事受注量、納品時期などが大幅に重なったことや、暑さ・寒さが厳しかったことにより、電力使用量が多くなったのが原因と考えられる。次年度については、納品時期等をずらすなどの工夫や、クールビズ・ウォームビズに努める。 近年の価格高騰の中、様々な小さな積み重ねが材料などの無駄使いや購入と繋がり、ロス率超えとなる時もある為、現場においては、資材の在庫確認、重機・機械の燃料等の無駄な使用などを無くす又、事務所においては、光熱費の削減として省エネ機器に取り換えることや設定を心掛け、書類関係などの使用においても、ミспリントを減らす為、PDF への変換や用紙の両面印刷を行うなどに前年度に引き続き取り組み、今以上にコスト削減の中での環境配慮への取組み、近年言われているSDGsの周知を行う。
2. 是正及び予防処置	十分出来ている。是正及び予防処置は、無い。
3. 法的要求事項の遵守状況	十分出来ている。又違法は、無かった。
4. その他	
変 更 の 必 要 性 及 び 指 示 事 項 (代表者)	
1. 環境経営方針：①変更する ②変更しない	指示 環境経営方針を再確認し、全従業員に周知徹底すること。
2. 環境経営目標・環境経営計画：①変更する ②変更しない	指示 電力使用量の削減に向け、業務の平準化やクールビズ・ウォームビズによる室内温度管理の徹底に努めること。 EA21 勉強会において、EA21 活動と関連付けてのSDGsの周知を行うこと。
3. 環境経営システムの各要素：①変更する ②変更しない	指示 システム全体について、もう一度周知徹底すること。
4. 実施体制：①変更する ②変更しない	
その他	